

## 第 9 回 沖 縄 県 教 育 委 員 会 会 議 ( 臨 時 会 )

1 日時            平成23年 5 月 11 日      16時00分～17時05分

2 場所            教育庁第一会議室

3 出席者

委 員	中野    委員    (委員長)	(欠席委員)
	安次嶺 委員	
	鎌田    委員	
	新垣    委員	
	安里    委員	
	大城    委員    (教育長)	

教 育 庁	統括監等	教育管理統括監、教育指導統括監、参事
	課長及び 班長等	総務課長、財務課長、施設課長、福利課長、 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課長、文化財課長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課総務班班長、同班主査、 同課教育企画監、同課教育企画班主任指導主事、 県立学校教育課人事班主幹、同班主査

4 傍聴した者

記者 2 人    /    その他 0 人

平成23年第9回県教育委員会会議（臨時会）

（開会16:00）

委員長	ただ今から平成23年第9回県教育委員会会議・臨時会を開催します。 はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は、鎌田委員にお願いします。
鎌田委員	はい。
委員長	次に教育長報告をお願いします。
教育長	（教育長報告） ・東日本大震災における沖縄県教育委員会の対応状況について
委員長	それでは、御質疑ございますか。
安次嶺委員	沖縄県でかなりの数の受入を行っているのはよいことだ。2点聞きたい。 1点目は被災地県以外の受入70人の県別内訳はどうなっているか。
総務課長	被災地県以外では県別の集計を行っておりません。
安次嶺委員	もう1点は、避難してきた児童生徒について、被災地へ戻ったり、別の地域へ移動した人もいるのか確認したい。
参事	少数ではありますが、県立高校では戻った人もいます。
安次嶺委員	大部分は沖縄県に留まっているということか。
参事	はい。
鎌田委員	全体で161人の児童生徒が沖縄にいるということだが、その中で保護者を震災で亡くした人もいるか。または、保護者と一緒なのか、縁故関係がある人やない人など、実態把握は行っているのか。
教育長	細かい資料はありませんが、公営住宅か民間住宅か等の住居の形態の状況や、多くは保護者と一緒であるとか、父親が仕事の関係で被災地に残っている場合が多いとか、または祖父母等の親戚を頼って避難している等の状況は把握しています。
鎌田委員	避難してきた児童生徒が負っている心の重荷に留意して丁寧に対応する必要がある。また、クラス担任を始めとする学校現場への負担に対する支援態勢も必要になるかもしれない。そういう実態把握もお願いしたい。
安里委員	学校で子供たちを受け入れる態勢は整備されていると思うが、教育委員会として生活面でもサポートすることが子ども達の健全な教育環境につながると思う。家庭環境へのサポートも検討してほしい。また、今は解決していると聞いているが、先日の新聞報道の翁長議員のコメントで、沖縄に避難していた子ども達が戻る時の加算の話等もある。行政の不備で、心に傷を受けて

	いた子供たちに追い打ちをかけるようなことが起こらないよう、しっかりした態勢を構築してほしい。
教育長	新聞報道での翁長議員の意見には若干の誤解があったこともあり、しっかり対応しております。特に心のケアは大事な視点だと思います。受け入れた161人、県立学校は11人いますので、8校のうち既に4校は回りました。そして、学校ではスクールカウンセラーの対応等の支援を行っているので、今のところ順調にしていると思います。また、ご意見も参考にしながら改善できるところは改善していきたいと思います。
委員長	色々な意見がでましたので、関係課は重く受け止めて対応してほしい。
委員長	他にございませんか。 (なし) それでは、議事に入ります。本日は議案が3件となっています。なお、議案第2号から第3号は人事案案件となっていますので非公開としたいと思いますますがよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 それでは、議案第1号の説明をお願いします。
総務課長	(議案第1号の説明) 平成23年度沖縄県教育委員会の点検評価について
委員長	御質疑等ございませんか。
安次嶺委員	写真等もあり、大変見やすくなっているが、もう少し説明がほしい部分もある。例えば、武道指導者養成事業の項目では、平成22年度の取組及び評価が2行記載されている。これだけでは、説明とデータが足りなくて中身がよくわからない。他の項目では、どういうことをやってどう評価したというのがあるが、この部分はどのように実施したのか不明だ。
総務課長	今回は、去年が全事業網羅した細かな数字であったということもあり、先生方の意見を反映させながら簡潔にしましたが、過ぎたところもあるかもしれません。それについては、次年度以降改善していきたいと思います。
安次嶺委員	スクールカウンセラーについては、県立学校と義務教育課で分けられているが、内容が同様のものは一つにまとめる等の配慮がほしい。
総務課長	それぞれの課の事業ですが、検討して可能であれば次年度以降統一していきたいと思います。
鎌田委員	5月でここまで仕上げたことを評価したい。私達は6月議会への提出を目指していたため、職員は大変な苦勞をしたと思う。平成22年度の点検評価が早めに行えることで、この報告書を確認しながら業務を遂行できるだろう。また、総務課長から説明があったが、チェックすべき部分を10項目にまとめられたのはいいことだ。また、点検評価の中立・公平性を保つという意味

	<p>で、学識経験者に点検していただいたのだから、どこかに具体的にどういう点検があったのか等、学識経験者のコメントがあればよいと思う。また、各市町村の点検評価についても、県と連携しながら行ってほしい。</p>
新垣委員	<p>一番最後に写真付きで記載されている部分について、高校生が自ら交通問題について取り組んでいるのがよいと感じた。また、安全マップについて記載されているが、地域と連携しながら作成してほしい。</p>
安里委員	<p>内容が改善されており、敬意を表したい。今後、次年度の計画を立てる時期に、中間報告等を各課に提出させてみてはどうか。例えば、幼稚園教育の改善・充実の今後の対応で、幼児教育の充実のため2～3年保育の促進を図ると記載されているにも関わらず、内容の中には一言も盛り込まれていない。次年度はもう少ししくみを検証してほしい。また、数字の件だが、耐震化率や就職内定率の表示・比較方法についても考えてほしい。今後よりよくするために、様々な角度から検証できるよう検討してほしい。</p>
委員長	<p>他にございませんか。  (しばし間があり)  では、このとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>このとおり決定します。  休憩します。  (以下は非公開部分のため省略します)</p>